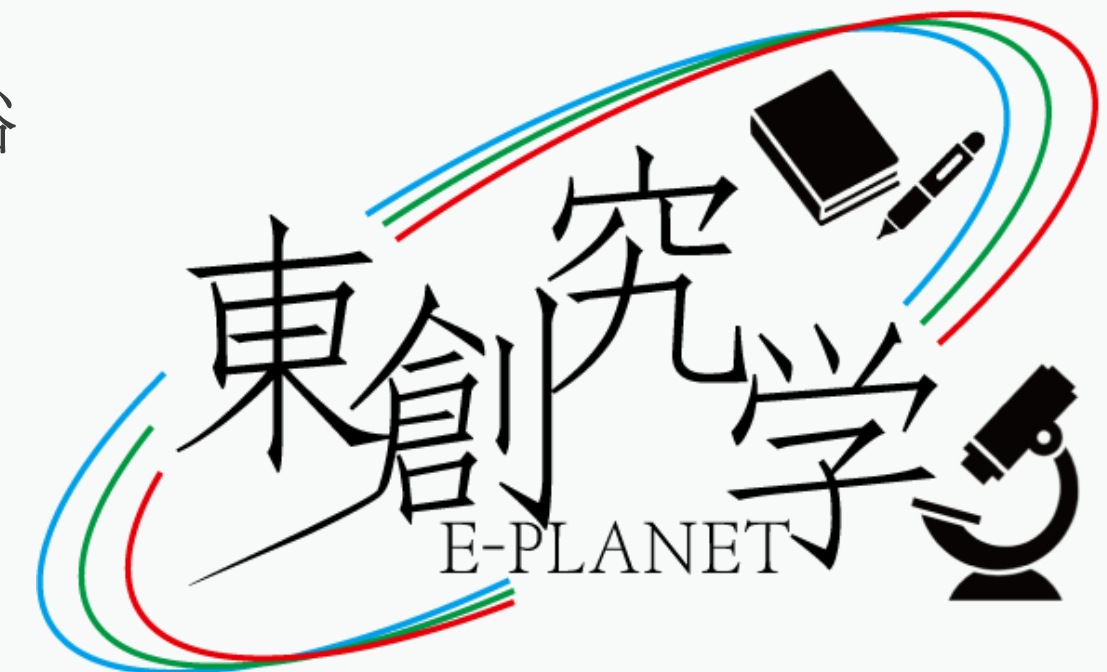


■ 探究学習セミナー2024「これからの探究学習へのヒント」
—生徒が主体となる学びの場づくり—

大阪府立東高等学校の探究学習の実践例 ～「東創究学プロジェクト」の試み～

2024.12.07 SAT

 大阪府立東高等学校 探究推進部長 石山貴裕



1. 大阪府立東高等学校



創立101年目 都会のと真ん中にある高校

令和4年度に大阪府立に移管（3年目）

普通科・英語科・理数科の3学科を併設

「高志・卓行」を校訓とした学びの実践

校務分掌「探究推進部」設立4年目

探究活動 × **図書館運営** × **情報機器管理**

2. 探究推進部というHUB

探究を探究という「科目」だけで考えることは難しい

→学年団任せの年間計画（指導の体系化がない）

→単なる調べ学習や誤ったアプローチへの指導不足

→情報機器の活用や生徒の話し合いの自己目的化

⇒探究を【場】として捉える概念が必要



3. 教師の「思い込み」をなんとかする

否定から入らない「探究」を構築する

1. うちの学校ではそんなことはできない（環境・生徒・教員等）
2. そのようなことを万全に指導する自信が自分にはない
3. 生徒たちが全員それを一定の水準で完成させられないのでは
4. 評価の方法がややこしそうで、自分にはとうていできない

etc....

→「探究」という得体の知れないものへの自信のなさ

⇒最終目標（大言壮語でいい）を品詞分解してみる



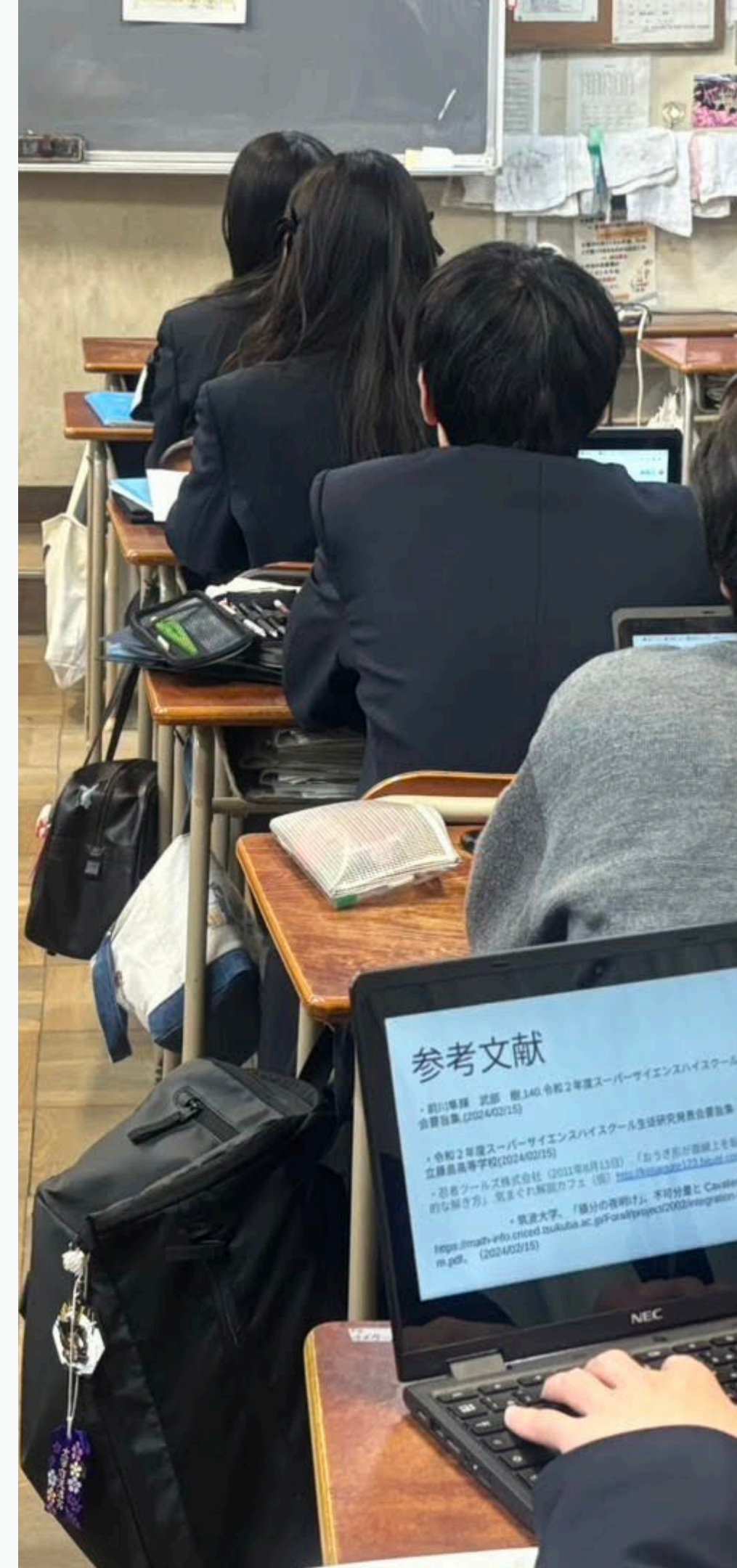
4. 東高校の総合探究

1年次：3本柱の「探究」の基礎体力づくり

①なぜ学ぶのか？

→探究推進部長による全体ガイダンス「世界の解像度を上げよう」
担任団による「なぜ教師になったのか？」講話
学ぶことの意味を考える3つの文章を読み取り、まとめる
上記3つの内容をグループで協働してまとめ、
個人で「なぜ自分は学ぶのか？」を文章化する（**450字程度**）

- A. 汐見稔幸『人生を豊かにする学び方』（ちくまプリマー新書）
- B. 鈴木福「目の前のことに取り組んでいけば大きな夢につながる」（『サンデー毎日』2024/4/21号）
- C. 中原淳『14歳の世渡り術 嫌いな教科を好きになる方法、教えてください』（河出書房新社）



4. 東高校の総合探究

1年次：3本柱の「探究」の基礎体力づくり

②論理コミュニケーション

→一般財団法人SFCフォーラムによるカリキュラム（生徒徴収金）

「文章の設計図」によって意見・根拠・事例を構成して書く
遠隔授業・動画授業・3回の検定で論理的な記述方法を学ぶ

今年度より「文献の引用講座」を導入（CBT形式の検定）

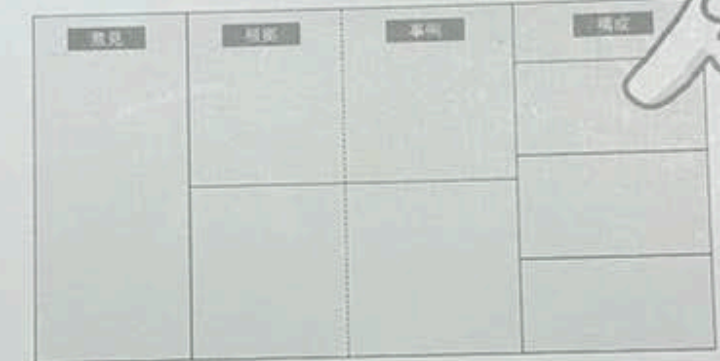
600字×2つの授業課題・2回の検定＋**1200**字のCBT検定

（検定3回込みで全12回＋引用講座5回）

……今年度の形式では多く感じたので、次年度は調整中）

※全学科をまたいで確実に成果が出ているので継続は確実

一般財団法人SFCフォーラム主催
論理コミュニケーション
論述力検定ワークブック（1）



論理的な文章の設計図

仁藤亜里・井上孝志・齋田有里・上野詩歩・SFCフォーラム教材開発

論理的に
書く力は、
計測に基づき
学習できる学び
になった。

コンピュータープログラミング教育は、
の育成であると確認された今、このワ
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（S
教育者が15年をかけて学校現場で蓄
を根拠に、論理的に書く力を計測に基
る学びに変えた力作。

大学院政策メディア
グローバルリサーチイン

©一般財団法人SFCフォーラム 2019

4. 東高校の総合探究

ひたすらに
読んで書く

1年次：3本柱の「探究」の基礎体力づくり

夏期休業課題

→学年・進路・探究からそれぞれ違うアプローチで課題を出す

学年：**ジャパンナレッジSchool**内の新書や**図書館**で借りた新書を読み、その本の**書評**（≠感想文）を書く

進路：**マナビジョン**等を用いた職業探しをおこない、**レポート**としてまとめる

探究：オープンキャンパスに行った大学を、**論理コミュニケーション**の文章の設計図を用いて**作文**し、大学紹介



4. 東高校の総合探究

1年次：3本柱の「探究」の基礎体力づくり

③プレ探究

→探究推進部長による[全体ガイダンス](#)「日常の謎を問いにする」
(リンク先の資料は昨年度のもので)

自分の中の「日常の謎」を「問い」の形にしてみる

現時点で興味・関心のある科目とその問いとの関連性を考える

生徒検索用Googleサイトで「自分でも読めそうな文献」を探す
(あるいは、学校図書館や地元の図書館で新書・専門書を探す)

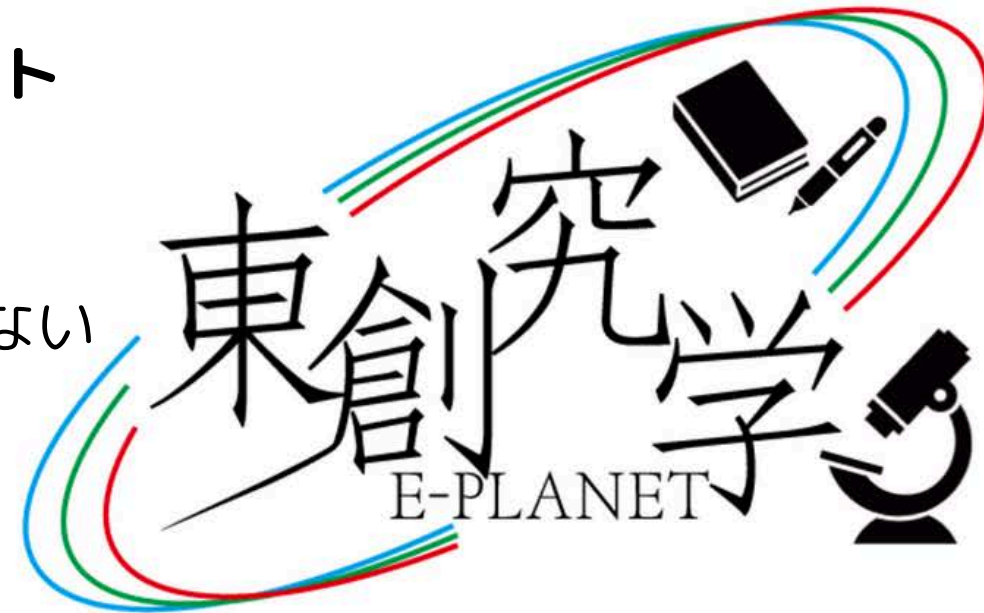
→読んだ文献のタイトル等をもとに、**3学科混合の班を結成**

⇒班での問いを和集合的に探し、スライドにまとめて発表



リンク集

探究のための役立つサイト等を紹介しています



★よく使うサイト★

- Classi
- ジャパンナレッジSchool
- 府立高等学校図書館 図書館蔵書検索(東高校)
- Googleスカラー
- テキストマイニング (byユーザーローカル)
- ★Workflowy(アウトライナー：自己の思考や行動を可視化するツール ぜひ活用してほしい)

1. 公共図書館	▼
2. 学術論文検索・書誌情報検索	▼
3. 統計・資料等	▼
4. オープンデータ	▼
5. 教科・科目に関する資料 (情報収集中)	▼
6. オープンコースウェア(OCW)	▼
7. その他	▼

生徒検索用Googleサイト

↓
検索時間の短縮
大ざっぱな検索をさせない

↓
①webサイトの記事を
鵜呑みにさせない

②孫引きをさせない

③論コミで学んだ
引用方法を意識
させる

1. 公共図書館

- ・大阪市立図書館蔵書検索
大阪市立の全図書館の蔵書横断検索 (登録すればデジタル資料も閲覧可能になるものがあります)
- ・大阪府内Web-OPAC横断検索
大阪府内にある全公立図書館の蔵書横断検索
- ・大阪府立図書館蔵書検索
大阪府立図書館の蔵書検索 (登録すれば複写依頼等もできます)
- ・国立国会図書館サーチ
国会図書館ならびに全国の図書館にある蔵書の検索
- ・カーリル (全国図書館横断OPAC)
全国の公共図書館の蔵書検索 (Amazonと連携しています)
- ・CiNii Books (大学図書館OPAC)
国内の大学図書館にある資料 (音声・映像資料等も含む) の横断検索

2. 学術論文検索・書誌情報検索

- ・CiNii Research
日本国内の論文検索
- ・J-STAGE (科学技術情報発信・流通総合システム)
科学系・言語系論文が多めの論文検索
- ・学術機関リポジトリ (IRDB)
大学 (高等教育機関) の学術論文の検索
- ・RefSeek
全世界の論文を検索できるデータベース、使い方が分かりやすい (サイトは英語)
- ・DOAJ
世界中の論文を検索できるデータベース (サイトは英語)
- ・Semantic Scholar
論文同士のつながりをAIを用いて見つけるデータベース (サイトは英語)
- ・CORE
オープンアクセスの論文に特化した検索データベース (サイトは英語)
- ・Science.gov
米国の科学論文の検索、量が圧倒的 (サイトは英語)
- ・PLOS
生物学・医学分野の英語の論文検索サイト (サイトは英語)
- ・PubMed
世界中の医学に関する英語の学術論文を検索できるデータベース (サイトは英語)
- ・e-hon (全国書店ネットワーク)
紙の書籍の情報を確認するときはここで (オンライン書店としても機能)

3. 統計・資料等

- ・e-Stat (政府統計の総合窓口)
日本政府が発表している統計データを全てまとめたサイト
- ・e-Statリンク集
このリンク集からだいたい日本国内の統計資料にはアクセス可能です
- ・統計ダッシュボード
国や民間企業等が提供している主要な統計データをグラフ化して、分かりやすくしたサイト
- ・SSDSE (教育用標準データセット)
様々な分野の公的統計を、市区町村別又は都道府県別にまとめた、表形式のデータセット
- ・総務省統計局
政府統計資料を整理して公開しているサイト

4. 東高校の総合探究

1年次：3本柱の「探究」の基礎体力づくり

冬期休業課題

→探究から外部コンクールで負荷の比較的少なめな課題を出す

⇒ナレッジイノベーションアワード

高校生アイデア部門

「未来の“私の”仕事を考える」に取り組む

※アウトプットの練習とキャリア教育の一環として
(外部コンクール等はこの1つだけ全員応募)

アイデア募集中!
応募締切 2025.1.11

第12回ナレッジイノベーションアワード

高校生アイデア部門

未来の仕事を考えて

あなたが考える
“未来の仕事”が
世界を動かす!

ナレッジキャピタル

KNOWLEDGE CAPITAL

4. 東高校の総合探究

評価について（1年生）

大前提：**Cはつけない**（不登校生徒等のみ）

- ①知識・技能：論理コミュニケーションの評価が1回でも「C3」以上なら【A】
- ②思考・判断・表現：プレ探究のグループ発表の評価平均が「3.2」以上なら【A】
- ③主体性：①と②のいずれか一方がAなら【A】

※①と②は6割以上の生徒がAとなるように設定【B B **A**】のみ、その生徒は担任が判断して評価



4. 東高校の総合探究

2年次：学科ごとの探究に分化（2単位）

普通科：総合的な探究の時間（5クラス、個人→グループ→個人）

英語科：総合的な探究の時間（1クラス、8班、SDGsについて）

理数科：理数探究（2クラス、物化生地数で計20班、実験重視）

※探究推進部が関与するのは基本的には普通科の探究のみ（要改善事項）

→全学科を混ぜないことによる理科教員の人員不足（普通科・英語科に入らない）

→理数科のみ「理数探究」という【評定の付く科目】のため、負担が非常に大きい

探究は【評定がつかない（文章でのみ評価される）】科目であることが一番の強み

⇨失敗すら学びに変えて楽しむことを生徒に繰り返し強調することが重要



4. 東高校の総合探究

2年次普通科：成果物を「まず」持たせるところから

①個人の「究めたいこと」をとことん究めよう

→全体ガイダンスで、夏休みの課題として**4000**字のレポートを課すことを話す（※生徒も**担当教員も**大半が不安になります）

⇒総合探究での大きな課題のひとつが「成果物を最後に出す」こと

→そこで「**終わる**」のではなく、そこから「**始まる**」ことを意識させる探究にするには？

⇒「**成果物をまず持たせる**」探究活動のデザインが必要



4. 東高校の総合探究

2年次普通科：成果物を「まず」持たせるところから

①個人の「究めたいこと」をとことん究めよう

個人レポートを書くための下準備として……

◆論理コミュニケーションでの学びを忘れさせない

(文章の設計図・引用の適切な方法・用語の定義)

◆アカデミック・ライティングの前段階までの「作法」

(個人的には「ハイスクール・ライティング」と定義、

レポートの構成・辞書や事典の使い方・二次資料との向き合い方・調査は最後の手段であること等を指導)

◆ジャパンナレッジSchoolの活用 (生徒徴収金、全生徒)

(図書館資料との棲み分け、百科事典・年鑑等の活用促進)





古典文学



学習まんが



my本棚



my辞書設定

4. 東高校の総合探究

2年次普通科：成果物を「まず」持たせるところから

①個人の「究めたいこと」をとことん究めよう

ジャパンナレッジSchoolの活用について（今年度より導入）

→府立への移管にともない、学校図書費が**20分の1**に減額
学校司書も**全校雇い止め**（各学校で独自に雇用する形態に）

⇒生徒の「正確な」情報へのアクセスを担保するために

新書・辞典・事典・統計・年鑑をデジタル化して提供

（それとは別個で、学校図書館としての予算を可能な限り

交渉して確保、**新書外の学術書**と小説を生徒に図書館で提供）

セマンティック検索

質問の意味を理解し、目的に合った検索結果に導

コンテンツを選んで検索

今日の一冊

恐竜はホタルを見たか 発光生物が照らす進化の謎

人間には適わない「光る能力」

どの生物が最初に光ったか。生物の進化の歴史をひもとく
に挑んだのが本書です。そもそも...続きを読む

関連リンク

新書・文庫 雑誌 日本古典文学全集

my本棚

4. 東高校の総合探究

2年次普通科：成果物を「まず」持たせるところから

①個人の「究めたいこと」をとことん究めよう

ジャパンナレッジSchoolも**使い方を丁寧に生徒に教える【重要】**

→アイテムはスキルがなければ十分に活用できないので、

このようなプリントを用意して生徒に取り組みせました

+各授業でも活用できるなら活用してほしいと依頼

⇒自分の「究めたいこと」をただ究めるだけなら【調べ学習】、

しかし、そこから**他の領域に興味がわいてきたら**、それが

本当に「何かを究めようとすること」につながるという指導

単なる【調べ学習】を越えて、目指すべき【探究】へ

時間

ナレッジ School の使い方を身に

2年 組 番 名前

、ジャパンナレッジ School を使って答えを探してみ

※調べた方法を覚え書き

完了+過去の助動詞「～てけり」について学んだだけ

用法（※終止形のものだけでいいので）がどれほどあ

けり」の用例がどれほどあるのかを調べて答えよう。

菜の価格が急激に値上がりした気がする。外食しても

、2022年の日本の家庭における外食の費用の割合を知

生の外食の割合を調べて答えよう。

いい」という日本語を beautiful で訳したら△になっ

語の使い分けがどうなっているのかを知りたい。

分けられているのか、調べてまとめてみよう。

【R6年度_生徒レポート】

2024_「かわいい」が与えるもの_東探究

2024_「人間関係構築」における「第一印象」の重要性について_東探究

2024_100m走における競技力向上のための課題について_東探究

2024_MLBの大型契約増加について_東探究

2024_アトピー性皮膚炎について_東探究

2024_インターネットにおける誹謗中傷について_東探究

2024_オリンピックの新種目について_東探究

2024_お茶の種類によって何が違うのかーお茶の味や色の違いのワケー_東探究

2024_ご当地キャラクターの人気についてーご当地キャラクターの人気ランキングー_東探究

2024_ショートスリーパーになりたいー寝ている時間がもったいない！！_東探究

2024_スポーツ通訳士のすべて_東探究

2024_なぜ「走れメロス」は名作と呼ばれているのか_東探究

2024_なぜアンパンマンは子どもに人気なのか_東探究

4. 東高校の総合探究

夏期課題の4000字のレポート初年度の成果

- ◆普通科196人中、**未提出者は7名**（提出率96.4%）
- ◆提出されたレポートの字数平均は概ね**2800**字程度（4000字を目処としていたので、初年度の成果として十分に生徒は応えてくれたという印象）
- ◆**適切な引用ができていないレポートが約3割強**
→次年度に向けての大きな課題
（提出は認めたが、Googleサイトには掲載しない）

4. 東高校の総合探究

夏期課題の4000字のレポート初年度の成果

- ◆**Googleサイト**でのレポートアーカイブの作成
 - 先輩のレポートを参考に【**場**】の形成を目指す
 - ≠先輩の探究や研究をそのまま引き継ぐ
 - (SSHの陥りがちな罠には生徒をはまらせない)
- ◆自分の成果物が引き継がれるという「自信」をつける
 - +自分の成果物を持って班を結成するという意識
 - ⇒だからこそ、**班決めは徹底的に繊細に！**

【探究・研究の5大キーワード】

1. 心理的安全性

失敗は悪いことではない。
失敗しても笑わない・責め

2. メタ認知

自分の行いを他者の視点で
形にならないことを文字化

3. レジリエンス

困難なことや落ち込んだ場
長期的な視点を持ち、白黒

4. クリティカル・シンキング

思考の流れの中で、物事の
事実と意見を分け、目的を

5. 研究倫理

さまざまなツールがあるこ
倫理的にしてはならないこ

4. 東高校の総合探究

2年次普通科：グループの結成とテーマの設定

②レポートの内容から班のメンバーを構成

班のメンバー決めのルール

1. 班員は2～5名とする（2名は最終的手段、6名は×）
2. 最大58班まで編制可能とする（2月の発表会の許容数）
3. レポートの内容の類似性・対比性により班員を仮決定
- 4. 仮決定したグループ表とレポートのタイトルを公開する**
5. 生徒からの仮決定への意見表出を探究推進部で聞き取る
6. レポート未提出者やレポートと違う課題を追究したい生徒は**一人ずつ呼び出して丁寧にカウンセリングを行う**
7. 再度組み直したグループ表を公開し、最終の微調整を行う



4. 東高校の総合探究

2年次普通科：グループの結成とテーマの設定

②レポートの内容から班のメンバーを構成

生徒の声を十分に反映させたグループ決め

⇒ マッチングを失敗すると探究は全て失敗に向かってしまう

→ 仲のいい生徒同士が結託したりする場合は（という意見）

⇒ それで探究がうまく回り、本人たちが課題に真摯に取り組むのであれば、むしろそれを阻害する理由は？

教師の思い通りになることを最初から想定しないようにする

⇒ 最大限の努力をしても必ずイレギュラーは発生するので、

ブリコラージュの思想で綿密な連携を取って活動を進める



4. 東高校の総合探究

2年次普通科：グループでの探究活動

③実際に動き出すとやはり問題はいろいろ出てくるわけで

- ◆あれだけ言ったのに「アンケートを取りたい」班が続出問題
→内容の適切さを精査して一度取らせ、**挫折を経験してもらう**
- ◆引用した文章やデータの**引用元を明記しない**スライド
→**論理コミュニケーション**や1学期の指導内容を思い出させる
- ◆**言葉の定義や事典などの情報を軽視**して意見を主張する班
→**ジャパンナレッジSchool**を開いて一緒に使いながら指導

教師が「**ガードレール**」となって生徒を指導する必要性



4. 東高校の総合探究

2年次普通科：グループでの探究活動

④研究倫理への意識付けをどのようにするのがよいか？

◆ワークシートでも取り組みはするが、どうしても当事者意識が根付かない → **アカデミックな研究との架橋のために必須**

※**高校教員にはこの部分の知識が圧倒的に不足している**

⇒最低限、高校で教えるべき研究倫理が何かを考える

- ◆著作権・肖像権等の知的財産権について
- ◆調査法（データ分析）についての最低限のルール
- ◆自己と他者の意見の明確な区別
- ◆孫引き・追試性の無視など、不適切な行為の禁止

etc....



4. 東高校の総合探究

2年次普通科：研究倫理意識化のための中間発表会

⑤外部講師を招いての中間発表会

今年度は**16名**の外部講師を招いての発表会（謝金は**生徒徴収金**）

→「**厳しい意見を率直に伝えてあげてほしい**」ことをお願い
（ほめる一辺倒では生徒はやはり成長しきれない）

探究は10名の教員で5～6班ずつ（約20名）の生徒を担当

理科・保健体育・地歴公民×3、英語×2、数学×2、国語

⇒教員間の「**温度差**」をどう埋めていくかが課題

理数科「理数探究」に理科教員が割かれるのも課題

⇒あくまで「**生徒が自分から動く**」探究を意識させる



4. 東高校の総合探究

2年次普通科：2月の生徒研究活動発表会と成果報告

⑥生徒研究活動発表会（今年度が第8回）

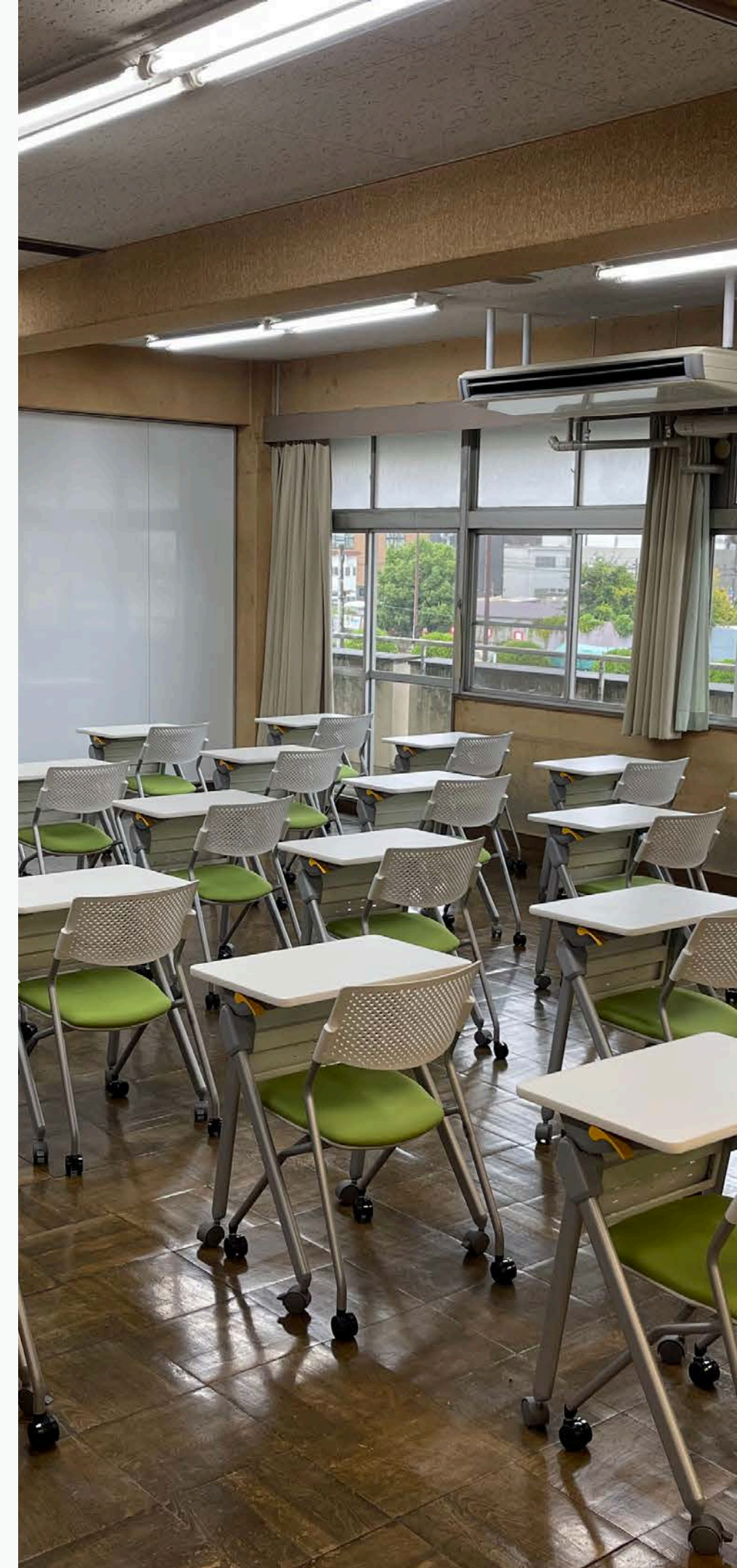
情報機器を活用し、紙のプリント配付は最低限のものだけ
（他の班に渡すフィードバックシートや記録用メモのみ）

1年生全員を聴衆とする学年行事として実施（各クラス3班）

⇒終了後、**成果報告書**を提出し、冊子として印刷

（**生徒の成果物は個人レポートと班での成果報告書の2つ**）

→今年度から、引き続き個人レポートは書き続けるように
指導する予定（総合型選抜等を意識した指導）



4. 東高校の総合探究

評価について（2年生）

大前提：**Cはつけない**（不登校生徒等のみ）

- ①知識・技能：**レポート課題**を提出し、かつ
評価ルーブリックが2点以上なら【A】
- ②思考・判断・表現：**グループの取り組み**について
担当教員が十分と認められれば【A】
- ③主体性：①と②のいずれか一方がAなら【A】

※【**B B A**】のみ、その生徒は担当が判断して評価



4. 東高校の総合探究

3年生で教科としてなくなってしまう総合探究

進路指導部との架橋をどのようにしていくか？

生徒にも「探究は2年で終わる」という意識がある←大問題

⇒科目でさえなくなるからこそ、自由に「究められる」ことの
楽しみを伝えていく必要性がある

(それが進路への楽しみにつながっていく)

図書館（自習室・探究空間）や、ジャパンナレッジSchool、
論理コミュニケーションで学んだ手法も今後ずっと使い続ける
ことで力となることを「**発信し続ける**」**分掌**として在り続ける



初めに戻って……

3. 教師の「思い込み」をなんとかする

否定から入らない「探究」を構築する

1. うちの学校ではそんなことはできない（環境・生徒・教員等）

→生徒の学力的なレベルは探究においては関係ないです

（成果物の水準には関係があるかもしれませんが、生徒の学びにおいて同じ「探究」である以上は、**生徒がどう育ったのかを評価する**という視点を持ち続ける）

◆環境的に出来ないことはたしかにあるかもしれませんが、それを整えるのはどこまでも「大人の仕事」です

（**人員・物資・予算を確保するためには分掌であることが重要**）



初めに戻って……

3. 教師の「思い込み」をなんとかする

否定から入らない「探究」を構築する

2. そのようなことを万全に指導する自信が自分にはない

→むしろ、自身がないほうが**生徒「と一緒に学ぼう」**という

姿勢が芽生えるので、自信などないほうがいいかもしれません

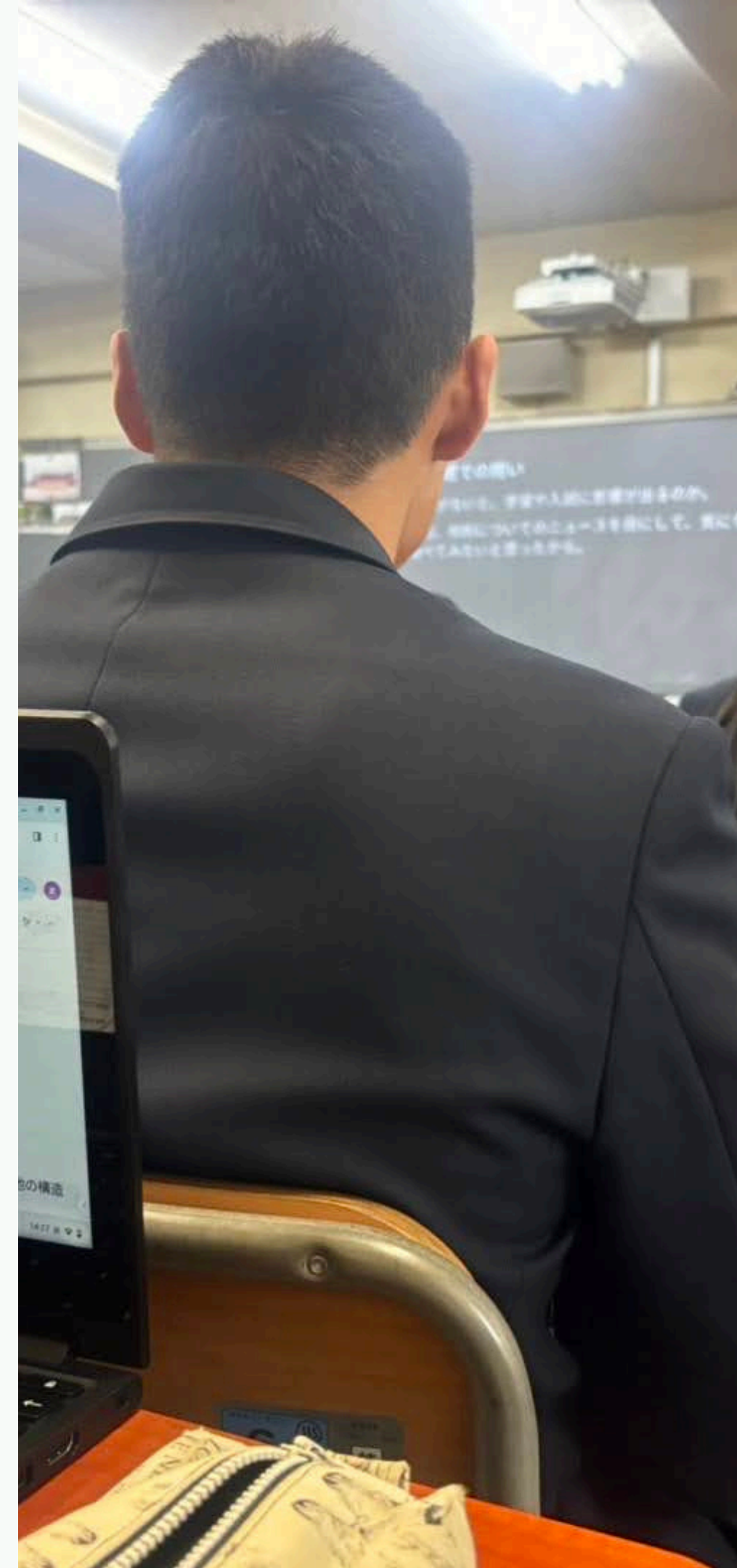
(教師は、どうしても教科のプロであるべきという固定観念が

芽生えるため、探究でも同じことが起きがちですが、そもそも

全てにおいて完璧であろうとするのは教師の傲慢です)

◆万全に指導しなくても、生徒は生徒たちの中で学びます

(だから、**フリーライダーを出さない工夫だけは必須**です)



初めに戻って……

3. 教師の「思い込み」をなんとかする

否定から入らない「探究」を構築する

3. 生徒たちが全員それを一定の水準で完成させられないのでは
→ 普通の授業でも同じことが言えるのではありませんか？
(一定の水準の定義を各学校で定める必要はありますが、
探究は唯一の「数字で評定の付かない、失敗も成功と言える教科」ですから、そのメリットを最大限活用して、生徒にも
心理的安全性を確保するほうが結果的にレベルは上がります)
- ◆ 背伸びはさせても、無理なジャンプはさせないことが大事
⇒ **水準を求めるのではなく、伸びしろを感じさせる**



初めに戻って……

3. 教師の「思い込み」をなんとかする

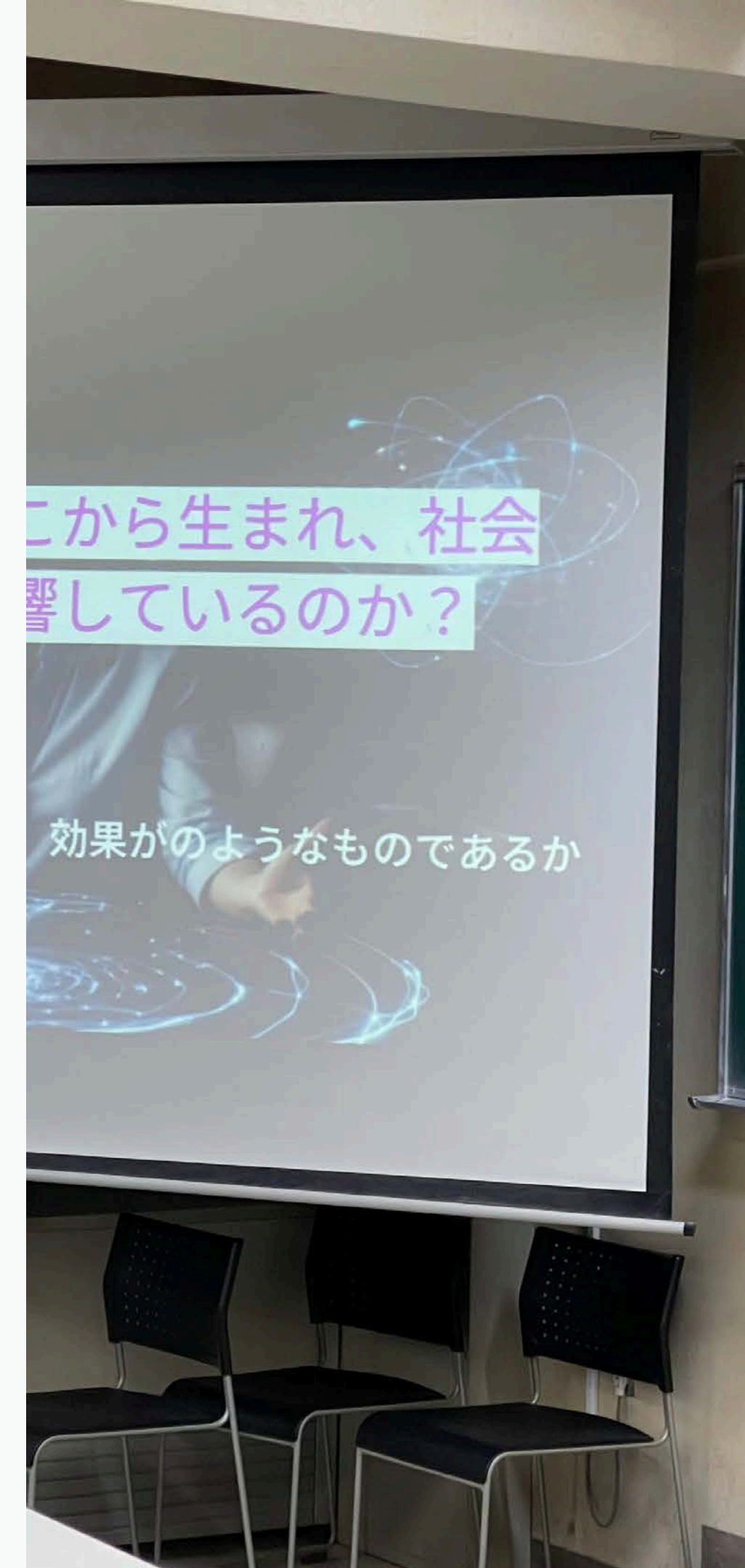
否定から入らない「探究」を構築する

4. 評価の方法がややこしそうで、自分にはとうていできない

→ここまでに紹介した方法なら、評価は一瞬でできます

(昨年度、ここで紹介した方法で評価をつけましたが、1年は探究推進部のデータだけで評価がつき、2年普通科は担当者が10分もあれば担当生徒分の評価が出来たと聞いています)

◆評価は評価なので、変に全員を別々の文章で表記するなどと
考えずに、一律の基準を決めてバツサリつけるのが吉です
(良い評価ほど文章表記が長くなる、くらの感覚で)



初めに戻って……

3. 教師の「思い込み」をなんとかする

探究とはどこまでも【場】を創り上げる営みである

探究（の最終目標）を品詞分解してみる

探究 = 【場の創造】 × 【生徒の成長】 × 【失敗も楽しめる学び】

その実現に向け、「**人員・物資・予算**」を担保する分掌 = **探究推進部**

文献：レジ袋で弁当箱を持ち運

この文献はレジ袋に入った弁当箱を持ち運ぶ実験について述べています。

その原因を明らかにするために様々なことを試み、その結果から、弁当箱の回転運動には、肩と肘を合わせた動きによって表現できることが分かりました。また、弁当箱に働く力を仮定した上で弁当箱の動きを観察します。結果から、弁当箱の回転運動には、腕の動きによって力のモーメントが変化することが分かりました。また、腕の動きによって慣性力が大きくなる効果の影響が大きいことが分かりました。角を超えると弁当箱が傾くことが分かりました。

5. 次年度に向けての準備

1. 新しい副教材の指定

2年生に『**全く新しいアカデミック・ライティングの教科書**』（阿部幸大、光文社）を指定予定

2. **生成AIの利用**について考える

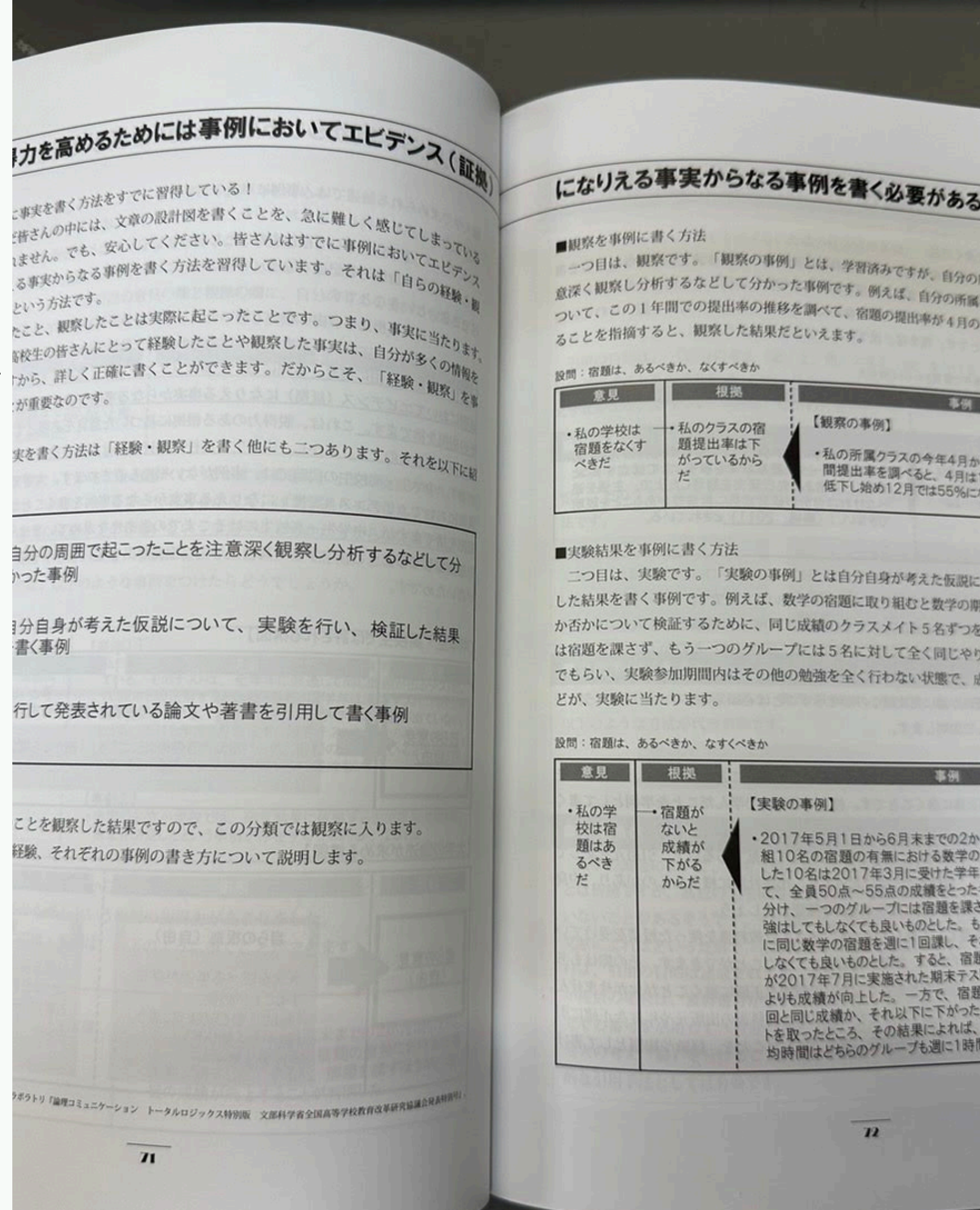
下手に禁止・抑制するよりも、リスクに対する理解を深めた上で積極的に利用する方向へ

3. 更なる人と人とのつながり

学校で閉じた探究をしてしまうと発展性がないため、**つながりを大切にした探究**を目指す

4. 学校図書館の拡充

図書館資料や場の拡充により探究の内容を強化



6. 探究そのものの課題

1. 外部コンクール多すぎ問題

毎日のように送られてくるコンクールやコンテストの案内……さすがにどうにかなりませんかね？

2. 文系探究と理系探究という「溝」

あえて「壁」ではなく「溝」とするのは、どうにか「埋める」方法がないかを考えたいから

3. 地元との連携あれこれ

地元との連携を探究ではよく打ち出すことが多いけれども、これは本当に求められている？

4. 学校図書館の運営どうするの？

司書教諭だけでは仕事は回らない！！



6. 探究そのものの課題

5. ワークブックがどれもなんとも……

まずは「リサーチ・クエスチョン」という偉そうな言葉をなんとかしませんかね？

6. なぜそんなにお金をかけたくない？

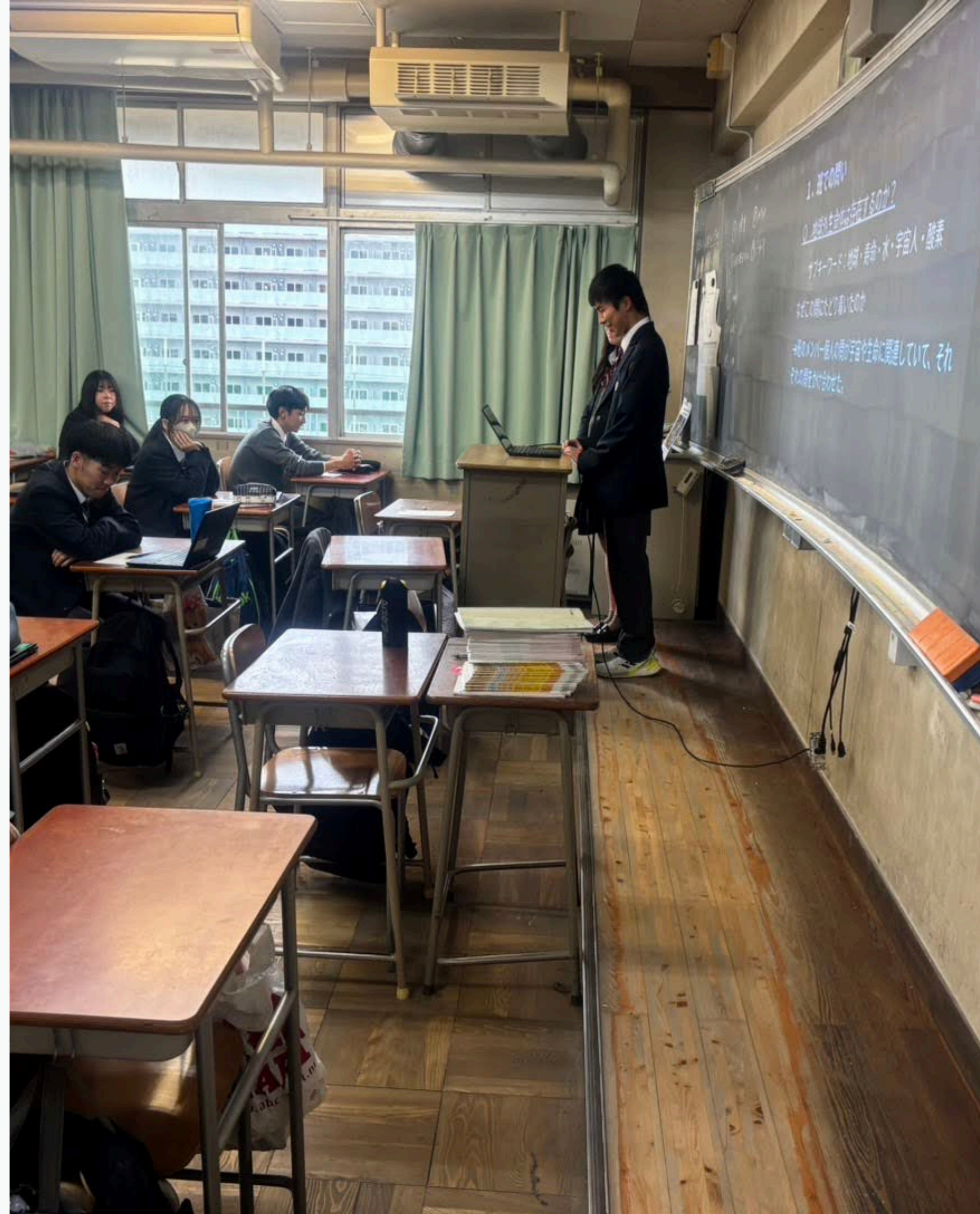
生徒徴収金でさえ非常に渋られる探究で出来ることは本当に少なくなります

7. 校種・教科の温度差がすごい

たとえば、中学理科と高校保健体育の教員間で探究の話をするこってあるでしょうか？

8. 文科省の学校任せ、本当に……

せめてプラットフォームくらい整えて！！



いろいろと書いてしまいましたが
少しでも参考になれば幸いです

